

## 研究課題名「慢性心不全患者の入院中の脱水早期診断を目的とした看護指標の組み合わせ」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2018年10月1日～2019年3月31日に中京病院循環器内科に慢性心不全で入院された方

### 2. 研究目的・方法・研究期間

#### 【研究目的】

日本の死因第2位は心疾患であり、高齢化とともに心不全の患者数は増加している。慢性心不全患者のおよそ3人に1人は1年以内に心不全増悪による再入院を繰り返している。高齢心不全患者は治療と同時に合併症にも十分な対策が必要である。一般的に高齢になるほど、脱水のリスクは高くなる。心不全治療には即効性のある利尿薬が使用されるが、高齢者は加齢に伴う生理的変化や薬物動態、併存症などの影響により、容易に脱水を起こしやすい。

本研究では、心不全治療中に脱水になる患者とならない患者との違いを調査し、看護師が脱水傾向を判断するための指標とタイミングを探索する。また、心不全患者の入院中の脱水の有無と好ましくない偶発的なイベント発症との関連を明らかにする。

#### 【研究方法】

対象期間における対象患者の診療記録から、脱水に関する項目（利尿薬や輸液の種類と量、BUN/Cr比等の腎機能、K等の電解質、尿量、体重など）を情報収集し、データベースを作成する。脱水の有無、脱水時の対応、各項目の区分で群分けする。T検定、Mann-WhitneyのU検定、 $\chi^2$ 検定を用いて群間における差を検討する。差が出た項目を中心に多変量解析を用いて、脱水に関する因子を探索する。

#### 【研究期間】

生命倫理実施承認日～2021年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、在院日数、併存症、内服薬と輸液の種類、血液生化学・ホルモン等の採血データ（腎機能を示すBUN/Cr比等、電解質を示すNa、K等、心不全の重症度を示すBNP等）、24時間尿量、体重、食事摂取量、バイタルサイン（HR、BP、BT、Sop2）、心臓エコーの評価、患者の自覚症等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒461-8673 名古屋市東区大幸一丁目1番20号

直通電話番号 052-719-1924

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科看護学 教授 林登志雄